

車山古墳の草刈りとお宮の清掃に21人が参加しました

コロナウイルスの関係で延期となっていたお宮の清掃と岡山市からの委託を受けて実施している車山古墳の草刈りを6月14日(日)、町内会役員・有志21人が参加し、暑い中、草刈り、清掃作業を約2時間行いました。尾上車山古墳の草刈を、10人が参加し行いました。当日の朝、白石さん宅に用意された草刈り機7台と燃料を軽トラに積み込み集合場所のお宮に運びました。午前9時頃には次々と人が集まって来ました。普門会長より参加者の皆さんに説明をした後、草刈りを行う方々は草刈り機を持ち、未明まで雨が降っていたので登りにくい道を車山古墳に登って行きました。尾上車山古墳は膝ぐらい延びた夏草がびっしりと生い茂っており、早速、エンジン音も軽やかに前方部の



途中休憩を行い、一息入れて再び草刈りを始めました。古墳部分は傾斜も多く大変な作業でしたが、約2時間で草刈り作業は終わりました。



午前11頃にはお宮の境内で一休みし、草刈り機を片付けを行いました。尾上車山古墳の草刈りに参加された皆さん、蒸し暑い中、お疲れ様でした。

暑い中での草刈り作業 ご苦労様でした



草刈り前の車山古墳 と 草刈り後の車山古墳

令和2年7月より11月までの防犯パトロール担当

- ◆7/18 防犯パトロール ききょう町・編集委員会
- ◆8/15 防犯パトロール みどり町・育成会
- ◆9/19 防犯パトロール 本町・あかね町
- ◆10/17 防犯パトロール ききょう町・編集委員会
- ◆11/21 防犯パトロール みどり町・育成会

※雨天の場合は中止します。  
※参加者は町内役員(町内会三役・理事・土木委員及び各団体関係者です)



後楽園の花菖蒲 6/5森安英夫氏 撮影

政府マスク福祉施設へ  
現在、不要な政府マスクの回収を行っています。回収された未使用のマスクは児童養護施設や高齢者施設等に寄付いたします。ご協力をお願い致します。  
☆取扱者 楠木忠司(本町西) ☆連絡先 090-13373-1171

お宮の境内、周辺の清掃には11人が参加しました。

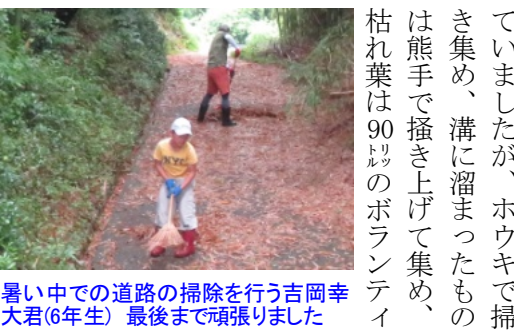


お宮拝殿の前には草刈り機がずらり



道路りには多くの竹や樹木の枯れ葉を掃き寄せ、袋に詰める参加者の皆さん

特に、周辺道路には竹や樹木の枯れ葉が溜まり、側溝には土砂や枯れ葉が溜まっています。お宮の建物周辺では竹や草も伸びていま



暑い中での道路の掃除を行う吉岡幸大君(6年生) 最後まで頑張りました

した。道路の枯れ葉は雨に濡れていましたが、ホウキで掃き集め、溝に溜まったものは熊手で掻き上げて集め、枯れ葉は90リットのボランティ



草刈り・清掃終了後、休憩する参加者



軽トラに積み込まれた27袋の枯れ葉等

花尻町内会ホームページ【 <http://townweb.e-okayamacity.jp/hanajiri/> 】

花尻町内新聞

発行責任者 普門茂之  
編集責任者 楠木忠司

一部	50円
年間	500円
送料	100円
年間	1,000円

コロナウイルス終息を願い全国に花火の打ち上げ

6月1日(金)、午後8時より突然サプライズ的に花火



神道山(黒住教)で打ち上げられた花火(神道山入口から6/1撮影)

町民の皆様へ

皆さまご自身を守るため、そして、大切な人を守るため、3つのお願いへの協力をお願いします。  
お願い1→外出はできるだけ控えてください。  
やむを得ず外出する場合には、マスクを着用していただくようお願いいたします。  
お願い2→「三密」(密集・

密接・密閉)を避けましょう。お願い3→咳エチケット(咳やくしゃみをする際、マスクやティッシュ、ハンカチ、袖、肘の内側などを使って、口や鼻をおさえること)や手洗いをお願いします。集団感染は、「換気が悪く」、「人が密に集まって過」すような空間、「不特定多数の人が接触す

が打ち上げられました。今回の花火は、全国の162の花火業者により全国各地で一斉に打ち上げられたものです。神道山の花火も、その一貫であり、5月15日(金)に続くものでありました。花火打ち上げの趣旨は「悪疫退散を祈願し、花火を見上げて『笑顔』になってもらう。ひとりでも多くの人にこの想いをお届けできるよう」とのことでした。突然のサプライズではあ



5月15日、『祈砲花火(キボウハナビ)』の時のもの

るおそれが高い場所」という共通点があります。できるだけ、そのような場所に行くことを避けていただき、やむを得ない場合には、マスクをするともに、換気を心がけていただく、大声で話さない、相手と手が触れ合う距離での会話は避ける、といったことにかけてください。

「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイント

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために、「新しい生活様式」として、「一人ひとりが感染防止の3つの基本である

1. 身体的距離の確保
2. マスクの着用、
3. 手洗いや、「3密(密集、密接、密閉)」を避ける等の対策を取り入れた生活様式を実践しましょう。

これから、夏を迎え、例年よりも一層熱中症にもご注意ください。新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐための「新しい生活様式」における熱中症予防のポイントをまとめました。(1)マスクの着用について

と、心拍数や呼吸数、血中二酸化炭素濃度、体感温度が上昇するなど、身体に負担がかかることがあります。従って、高温や多湿といった環境下でのマスク着用は、熱中症のリスクが高くなるおそれがあるため、屋外で人と十分な距離(少なくとも2m以上)が確保できる場合は、マスクを外す様にしましょう。マスク着用の場合には、強い負荷の作業や運動は避け、のどが渇いていなくてもこまめに水分補給を心がけましょう。また、周囲の人との距離を十分に取れる場所で、マスクを一時的にはずして休憩することも必要です。外出時は暑い日や時間帯を避けましょう。(2)エアコンの使用について

コロナウイルス対策のためには、冷房時でも窓開放や換気扇によつて換気を行う必要があります。換気により室内温度が高くなりがちなので、エアコンの温度設定を下げるなどの調整をしましょう。(3)涼しい場所への移動 少しでも体調に異変を感じたら、涼しい場所に移動することが、熱中症予防に有効です。一方で、人数制限等により屋内の店舗等にすぐに入ることができない場合もあると思います。その際は、屋外でも日陰や風通しの良い場所に移動してください。(4)日頃の健康管理について 「新しい生活様式」では、毎朝など、定時の体温測定、健康チェックをお願いしています。これらは、熱中症予防に有効です。

新型コロナウイルスに便乗した犯罪に注意を!

コロナ×防犯

特殊詐欺

●電話やメールで「コロナウイルスに対する研究費を募っている」、「給付金の受取には事前に手数料振り込みが必要」などとだましてお金を振り込ませる。

悪質商法

●「水道管にコロナウイルスがついている」「コロナはマイナスイオンで死滅する」などと嘘をついて、不要な請求や賞品を売りつける。  
●一時的にマスクを送りつけ、後で法外な料金を支給する。

窃盗

●「臨時休業で閉店中の店舗や事務所をねらった窃盗事件。」

冷静な対応!

落っついた行動を!





ポンプを設置について説明する普門会長



白石さんの指導でポンプの始動



パンパンのホースを触る子ども達



説明を聞く児童と保護者



一株ずつ丁寧に植える児童達

車山古墳の草刈りとお宮の清掃を行った日の、午後1時30分より17人が参加して「排水ポンプ」の実働訓練を行いました。

訓練の日程を聞いた後、ポンプと機材を積んでいるリヤカーを引っ張り、設置場所では説明を聞いた後、ポンプを組み立て、

水を出す実働訓練を始めました。勢いよく出る水に子ども達もビックリしていました。約1時間で訓練は終わりました。

## 災害の季節を迎え排水ポンプの実働訓練を実施！



撫川のバラ園で開催されたさつき展



きれいな花が満開



園内ではきれいなバラが咲いていました

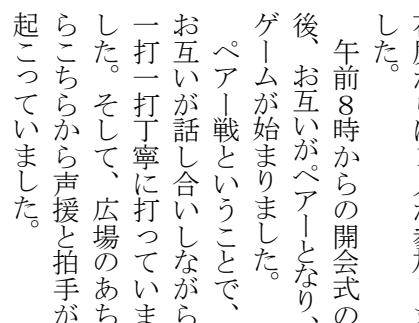
RSKバラ園ではバラが満開 さつき展も開催！  
5月30日(土)・31日(日)の両日、撫川のバラ園において、「さつき展」が開かれていました。市役所でも毎年5月に開催されていましたが、今年

販売もされており、一鉢買ってきました。また、バラ園では訪れている人も多く、きれいなバラの花を写真に収めていました。

## 陵老連主催 G・Gフオアサム大会 花尻チーム上位進出ならず



打合せをしながらのプレーする方々



お互い励まし合いながらのプレー

6月17日(水)、午前8時より吉備の中山スポーツ広場で陵老連主催のグラウンドゴルフフオアサム(ペアー)大会が開催されました。参加者は全体で約80人、花尻からは11人が参加しました。

午前8時からの開会式の後、お互いがペアーとなり、ゲームが始まりました。ペアー戦ということで、お互いが話し合いしながら一打一打丁寧に打っていました。そして、広場のあちこちから声援と拍手が起こっていました。

11時頃には大会は終わりました。花尻チームは今回は上位進出はなりませんでしたが、ご苦労様でした。

### お見舞い



“ご近所”の誼(よしみ)で、まだまだ予断を許さない“コロナ禍中”に、一言お見舞いを申し上げます。自粛中も大変でしたが、「うつらない、うつさない」の“心配”を怠らず、ほどほど加減の判断を個人に委ねられる昨今、そしていつまで続くか分からない“ウイズ コロナ”の日々の方が、一人ひとりの心の負担は大きいのではないかと案じています。

私たちは、毎朝日の出を拝む「日拝」から一日が始まります。雨の日でも曇りの日でも、目に見えないだけで、雲の向こうに“お日様”が昇ることを誰もが知っています。不安や恐れや迷いや諦めや苛立ちや緩みなどの心の雲や霧が立ち込めやすい時だからこそ、一層“心の健康”を大切にして、元気に前向きに生き抜いていただきたいと願っています。先日の花火も、「今こそ、上を見よう！前を向こう！」という若い連中の思いに賛同して、大切な「吉備の中山」での打ち上げを許可しました。ご海容のほど、お願いいたします。どうぞ、お元気で、お大事に。なお、「日拝」へのご参拝は、いつでも大歓迎です。

黒住教 教主 黒住 宗道

### ガンバレ！ 花尻町内会



花尻町内のみなさん、こんにちは！新型コロナウイルス感染で、自粛。休校・休業・自宅待機と、たいへん不自由で不安な日々を過ごされた事と存じます。

授業や部活、いろいろな行事が中止になりましたが、その中でも、花尻ききょう公園での夏まつりの開催見合わせが何より残念です。

私にとっては、子どもの頃体験した昔ながらのお祭りを味わえる1年で唯一のイベントです。1年に一度、久しぶりに皆さん達に会えるのも楽しみでした。

私事になりますが、今から26年前の1994年、岡山JCの仲間たちと「うらじゃ」を初めて行う事になった際に、発起人代表を務めさせていただいたこともあり、夏まつりの時に、花尻町内の子ども達が元気に「うらじゃ」を踊ってくれるのを見るのをとても楽しみにしています。

西日本豪雨の年でも開催され、昨年のおんな大雨の中でも開催できたのに、本当にザンネンです。

コロナ時代が到来してきてしまったので、これからのお祭りのスタイルは大きく変化してくると思います。ソーシャルディスタンスや消毒など 感染予防体制を万全にしながらも、ぜひ夏まつりを開催していただきたい、と心待ちにしています。元気が持ち前の花尻町内会、岡山中に「元気」を届ける勢いで、ぜひ夏まつりを！ 楽しみにしていま〜す！

公益社団法人 岡山県文化連盟会長・代表理事 若林昭吾

### 「新型コロナ第二波に備える」



岡山市の新型コロナウイルス感染症の最後の届出から一か月以上経ちました。第二波が何時起こるかは予測できません。そのとき、感染予防に効果があるのは、皆さんご存じのとおり、①手洗いの励行、②マスクの着用、③人との距離の確保の三つです。

では、第二波までにしておきたいことは何かというと、「健康づくり」です。医療機関に行くと感染するかもしれないからと、健診も予防接種も受けていない人がたくさんいらっしゃいます。コロナの流行っていない今こそ、健診や予防接種(コロナの予防接種はありませんが)を受けるチャンスです。加えて、今こそ取り組む時といえは禁煙です。喫煙していると、新型コロナウイルス感染症での死亡率が数倍に高まります。もう一つ準備したいという「テレ」です。コンピューターやスマートフォンを利用したテレビ会議システムが今や容易に使えます。このシステムを整えておけば、第二波がきても、受診もできれば、仕事も、勉強も、介護予防教室も、はては宴会までできます。さあ用意しましょう。

岡山市保健所 所長 松岡 宏明

### みなさん頑張っていますか！



地域の皆様には平素から町内会活動に、ご理解、ご協力をいただき、感謝しています。と、挨拶文等を書いたりするのですが、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、地域の行事、イベントが延期や中止になり、今までと全然違う雰囲気になったのではないのでしょうか。

3月中旬ごろより、新型コロナウイルス感染拡大により、学校が休校となり、卒業式や入学式がいつもと違うさみしい式になりました。また、地域においても町内会の総会もできなくなり、町内の皆さんが楽しみにしていた花見等の春まつりが中止となり、生活様式も自粛するように要請がありました。その後、地域の皆様お一人おひとりの徹底した感染防止策の結果、5月14日緊急事態宣言が解除されました。夏祭り等のイベントもすべて中止となり、秋の行事等も、予定はたっていないと思います。今年度中のイベント等は、開催できないかもしれませんが、「密閉・密集・密接」の「3密」の回避といった感染防止策の徹底など「新しい生活様式」を実践しながら、頑張っていきたいと思っています。みなさん頑張っていますか！ 頑張りましょう。

岡山市連合町内会会長 久世英一

次第にオタマジャクシを捕まえ興味津々に観察をする余裕も生まれました。腰をかがめて何回か苗を植えていくうちに、次第に作業にも慣れ、顔や手につく泥も気にならなくなってきた子どもがほとんどでした。協力会をはじめ、婦人会や交通安全母の会・愛育委員など地域の皆様、五年生保護者やPTA本部役員の皆様からたくさんのご協力をいただき、今年も貴重な体験活動が引き継がれたことに心より感謝いたします。

【文章 陵南小教頭山本哲也様】